

○司書専門試験問題例

第1問 次のA～Jの書名から、その分類を日本十進分類法（NDC）新訂10版に基づき類・綱の2桁の数字であらわしなさい。

※ 例 「日本の歴史」

2	1
---	---

- A 「新型コロナワクチンQ&A100」
- B 「フランス革命とヨーロッパ近代」
- C 「しかけがいっぱい貯金箱工作」
- D 「自信を持って行動できるメンタルの作り方」
- E 「ロジカルスピーチ術」
- F 「楽しい自費出版のススメ」
- G 「コロナ危機を生き残る飲食店の秘密」
- H 「よくわかる俳句歳時記」
- I 「知って楽しい世界の憲法」
- J 「すっきり暮らす新しい家事のワザ」

第2問 次の文章中の(A)～(F)にあてはまる語句を、語句群の①～⑫の中からそれぞれ選び、番号を記入して答えなさい。なお、()に同じアルファベットが記載されている場合は、同じ語句が該当する。

- (1) (A) とは、あらかじめすべての主題に対応した分類の項目に対して、それに該当する記号をあてはめる分類法のことである。「日本十進分類法（NDC）」もこの分類法を用いている。
- (2) 令和3年5月26日に参議院本会議にて可決、成立した「著作権法の一部を改正する法律」では、図書館に関する権利制限規定の見直しが含まれている。そのうちの1点は、図書館における現行の複写サービスに加え、一定の条件の下、調査研究目的で著作物の一部分を (B) 等ができるようにするものである。
- (3) 図書などの書誌情報をコンピュータで処理できる形式に記録したもので、国立国会図書館が作成するものを (C) とする。(C) は、国立国会図書館ホームページ上で公開されており、だれでも自由に検索などの利用ができる。
- (4) (D) とは、点訳絵本やさわる絵本などの総称で、特別な支援を必要とする子どもが一人で読むことができるとともに、すべての子どもが楽しむことができる絵本である。
- (5) 図書館のカウンター以外で行う利用案内や読書案内、レファレンスサービスなど利用者サービスの総称を (E) とする。意図的、計画的に館内を巡回し、利用者が不安そうにしているときや困っているときなどに声をかけることが重要である。
- (6) (F) は、雑誌論文などの内容を簡潔にまとめたもので、(F) を作成するにあたっては自分なりの解釈等を入れないのが原則である。元の論文などからどのように取捨選択を行うかが、作成にあたってのポイントとなる。

【語句群】

- | |
|--|
| ①Web公開 ②JAPAN/MARC ③NACISIS-CAT
④ハイパー絵本 ⑤列挙型分類法 ⑥フロアワーク ⑦抄録
⑧メール送信 ⑨観点分類法 ⑩バリアフリー絵本
⑪レビュー ⑫アウトリーチサービス |
|--|

第3問 次の(1)～(5)の語句について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- (1) 図書館の自由に関する宣言
- (2) ヤングアダルトサービス
- (3) 全文検索
- (4) 奥付
- (5) オープンデータ

第4問 図書館資料・情報の提供により利用者自身が課題を解決する支援を行うサービスを課題解決支援サービスというが、市立図書館が課題解決支援サービスをさらに進めるうえで取り組むべき課題について、5つ以上挙げなさい。

第5問 公共図書館における利用教育・利用支援に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 利用教育・利用支援のうち、情報活用法の指導として具体的にどのような方法があるか、異なる観点から5項目以上挙げなさい。
- (2) 図書館が利用教育・利用支援を実施する目的について簡潔に説明しなさい。